

入学料免除・徴収猶予願

提出年月日を記入する。

年 月 日

入学年度を記入し、入学又は編入学のいずれかに○を付ける。

どちらかにチェックする。

編入学・再入学以外は、「1」と記入する。

小樽商科大学長 殿

入学年度： 年度 ※ (入学) 編入学 □学部 □大学院 学年： 年次

本人氏名： 学生番号：

※本人が署名すること

〒 TEL(携帯電話)： FAX：
住所：

本人
連絡先：

家計支持者氏名：

※家計支持者が署名すること
(留学生および社会人学生は記入不要)

〒 TEL： FAX：
住所：

家計支持者
連絡先：

現在、入学料を納付することが困難なため、関係書類を添えて以下のとおり申請します。

希望する申請内容に✓マークを記入

●申請内容 (いずれかに✓を記入すること)

☐ 入学料免除・徴収猶予の両方

(入学料免除を申請した場合、入学料徴収猶予も同時に申請したものと取り扱います)

☒ 入学料徴収猶予のみ

●申請理由：世帯一人ひとりの状況等について、本人が詳細に記入すること。

学資負担者となるはずの父が、昨年10月に病気のため亡くなりました。

母は、父の看病に専念するため、昨年5月に退職しました。

昨年12月から、求職活動を続けていますが、なかなか仕事が決まりません。

私には、姉と弟がいます。

姉は、国立大学に在学中で、奨学金を受け、アルバイトもしていますが、授業料等の支払いで精一杯で、家計を助けられる状況ではありません。

弟は、まだ、中学生で家計を助けることはできません。

私は、奨学金を受ける予定ですが、今後の授業料の支払い等に備える必要があります。そのため、現在、私の家の家計から、私の入学料を支払うことができません。

以上の理由により、入学料の免除をお願いいたします。

学資負担者が無職の場合には、いつからその状況にあるのか、現在、生活費をどのようにまかなっているのか、再就職の見通し等について記入する。

●家計支持者が無職等の場合、その年月、生活費の出所

母は、昨年6月以降、仕事をしていません。現在、求職活動中ですが、専業主婦の期間が長かったため、安定した収入を得られる仕事を探すことは難しく、再就職のめどは立っていません。

現在の収入は、遺族年金、児童扶養手当のみで、不足する分は、貯蓄を切り崩していますが、父の保険金を闘病期間中の治療費等に使っていたこともあり、貯蓄も多くはありません。

該当する項目に○を付ける。

家庭調書

該当する項目に○を付ける。
また、前年の1月以降に該当するに至った場合は、その年月を記入する。

続柄	氏名	年齢	現在の収入形態(該当するものすべて○をつけてください)
本人	1. 自宅 2. 自宅外	才	①大学生 2. 大学院生
就学者を除く家族	父	才	給与・自営業等・年金・生活保護・失業手当・無職無収入・臨時所得 有・無 2019年1月以降の就職・転職の有無：有(2019年2月～)・無 2019年1月以降の退職の有無：有(年 月～)・無
	母	才	給与・自営業等・年金・生活保護・失業手当・無職無収入・臨時所得 有・無 2019年1月 2019年1月 2019.4.1～2020.3.31 までの間に、保険金等の臨時所得があった場合に○を付ける。
		才	給与・自営業等・年金・生活保護・失業手当・無職無収入・臨時所得 有・無 2019年1月以降の就職・転職の有無：有(年 月～)・無
		才	給与・自営業等・年金・生活保護・失業手当・無職無収入・臨時所得 有・無 2019年1月以降の退職の有無：有(年 月～)・無 自宅外で独立している兄弟などは、記入しないこと。
		才	給与・自営業等・年金・生活保護・失業手当・無職無収入・臨時所得 有・無 2019年1月以降の就職・転職の有無：有(年 月～)・無 2019年1月以降の退職の有無：有(年 月～)・無
		才	給与・自営業等・年金・生活保護・失業手当・無職無収入・臨時所得 有・無 2019年1月以降の就職・転職の有無：有(年 月～)・無 2019年1月以降の退職の有無：有(年 月～)・無

(注1) 前年の1月以降に就職・転職した場合は、その年月を記入してください。

(注2) 別居独立生計の兄弟等は記入しないでください。ただし、同居の祖父母等は記入し

国立の場合、前年度分の授業料免除の状況について、該当する項目に○を付ける。

4月1日現在の就学者について記入する。

続柄	氏名(才)	設置区分	在学学校(学年)	授業料免除状況 ※国立の就学者のみ	
				前期	後期
本人以外の就学者	1. 自宅 2. 自宅外	1. 国立 2. 公立 3. 私立	1. 小学校 2. 中学校 3. 高校 ④大学 5. 高等専門学校 6. 専修学校(高等課程) 7. 専修学校(専門課程) 学校名 年	①無 2. 全額 3. 半額	1. 無 2. 全額 ③半額
	1. 自宅 2. 自宅外	1. 国立 2. 公立 ③私立	1. 小学校 2. 中学校 3. 高校 4. 大学 5. 高等専門学校 6. 専修学校(高等課程) ⑦専修学校(専門課程) 学校名 年	①無 2. 全額 3. 半額	①無 2. 全額 3. 半額
	1. 自宅 2. 自宅外	1. 国立 2. 公立 3. 私立	1. 小学校 2. 中学校 3. 高校 4. 大学 5. 高等専門学校 6. 専修学校(高等課程) 7. 専修学校(専門課程) 学校名 年	1. 無 2. 全額 3. 半額	1. 無 2. 全額 3. 半額
	1. 自宅 2. 自宅外	1. 国立 2. 公立 3. 私立	1. 小学校 2. 中学校 3. 高校 4. 大学 5. 高等専門学校 6. 専修学校(高等課程) 7. 専修学校(専門課程) 学校名 年	1. 無 2. 全額 3. 半額	1. 無 2. 全額 3. 半額
	1. 自宅 2. 自宅外	1. 国立 2. 公立 3. 私立	1. 小学校 2. 中学校 3. 高校 4. 大学 5. 高等専門学校 6. 専修学校(高等課程) 7. 専修学校(専門課程) 学校名 年	1. 無 2. 全額 3. 半額	1. 無 2. 全額 3. 半額

高校卒業後に入学する専門学校は、主に、専修学校(専門課程)。

(注1) 予備校生は就学者には該当しません。

特別控除関係	母子・父子世帯	父無： 生別・死亡 (年 月) ※死亡の場合のみ、年月を記入してください。 母無： 生別・死亡 (年 月) ※死亡の場合のみ、年月を記入してください。
	障がい者のいる世帯	続柄 () 障がい者(障がい者手帳 有・無) 手帳番号 () 続柄 () 障がい者(障がい者手帳 有・無) 手帳番号 () 母子・父子家庭の場合は、該当する項目に○を付け、該当するに至った年月を記入する。
	長期療養者のいる世帯	続柄 () 療養期間 年 月 から 年 月 ※1. 入院・2. 通院 続柄 () 療養期間 年 月 から 年 月 ※1. 入院・2. 通院
	家計支持者別居の世帯	続柄 ()
	火災・風水害等の災害を受けた世帯	被害年月日 年 月 日 被害内容

